

そつか市議会 だより

No.225

平成29年11月発行
発行 草加市議会
編集 議会広報委員会
草加市高砂1-1-1
☎048(922)2489直通
FAX048(922)3154直通
<http://www.soka-shigikai.jp>



題 字 草加中学校3年 川原 さくら様
表紙写真 「冬構え」 撮影者：新谷 精二様

草加の冬の風物詩の「松のこも巻き」は、松の幹にこも（わらで編んだむしろ）を巻き付け、害虫が冬の寒さをしのぐため入り込んだこもを節分の時期にはずして焼却する伝統的な害虫駆除方法です。

CONTENTS

市議会発！草加のことを伝えたい

「一般質問」・・・・・・・・・・2～4P

決算審査を終えて・・・・・・・・・・5P

市長、議員提出議案・・・・・・・・・・5P

平成28年度の事業成果・・・・・・・・・・6、7P

広報委員が突撃インタビュー・・・・・・・・・・8P

表紙の題字を書いてくれた人・・・・・・・・・・8P



監査委員 宇佐美正隆

《主な経歴》

市議会議員5期
議長
平成23年10月～24年10月
副議長
平成18年11月～19年12月



副議長 井手大喜

《主な経歴》

市議会議員2期
福祉子ども委員会委員長
平成26年10月～現在
一般会計決算特別委員会
委員長
平成28年9月～28年9月



議長 切敷光雄

《主な経歴》

市議会議員3期
副議長
平成25年10月～26年10月
一般会計決算特別委員会
委員長
平成29年9月～29年9月

第1回臨時会が10月31日に開かれ、正・副議長の辞職に伴い行われた選挙で議長に切敷光雄議員（64歳、草加新政）、副議長に井手大喜議員（32歳、草加新政）が選出されました。また、監査委員については、宇佐美正隆議員（63歳、公明党）の選任に同意しました。

議長に切敷光雄議員
副議長に井手大喜議員
監査委員に宇佐美正隆議員

市議会発！草加のことを伝えたい ～一般質問～



佐藤憲和
議員

松原団地建て替えに伴う 児童数増加の受け皿を

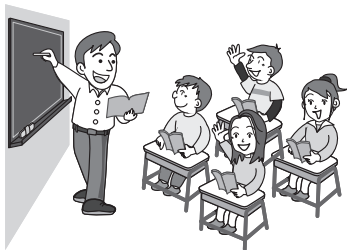
質問 ①松原団地建て替えによる人口・生徒数の推移は。②児童生徒数の増加に対する小中学校及び児童クラブの対策は。

答 **総合政策部長** ①平成26年度に推計したものであり、実際の在籍児童数とは異なるところがあるが、栄小中学校区は平成26年4月1日の総人口1万729人から、平成37年4月1日の推計値は1万3653人に増加、児童数は481人から670人に増加すると推計している。同様に松原小学校区は総人口9922人から1万

3324人に、児童数は451人から902人に増加すると推計している。

教育総務部長 ②最大で使用できる普通教室数は栄小学校が26教室、松原小学校が24教室、栄中学校が22教室である。児童生徒の推移を把握しながら、必要に応じ通学区域の見直しをしていく。

子ども未来部長 ②栄児童クラブは入室希望者が既に定員を大きく上回っていることから、第2児童クラブを開設している。今後の住宅開発の状況等を適宜把握しながら、待機児童が生じないよう対応を検討していく。



井手大喜
議員

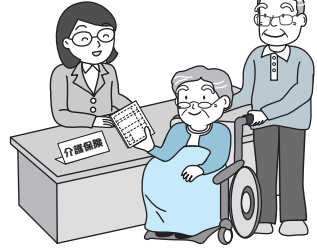
介護認定申請からサービス までの流れをスムーズに

質問 介護認定には、新規申請、サービス継続のための更新申請、認定程度の変更を行う区分変更申請がある。市民の方から、申請から認定結果の通知までに時間がかかり過ぎているのではないかと聞いた声を耳にすることが多くなってきた。草加市の現状はどうなっているのか。また、市民の評価を踏まえ、今後、どのような対策を図っていくのか。

答 **健康福祉部長** 草加市の介護認定申請から結果の通知までにかかる日数であるが、平成28年

度末時点で、1件当たりの平均が56日となっている。介護保険法では、原則、30日以内に認定結果を通知するよう規定されているが、新規認定申請者が毎年増加していること、市の介護認定調査員が不足していることで、認定調査までの日数が伸びてしまっている。こうした現状を踏まえ、介護認定調査員の確保が急務であると考え、調査員への報酬を増額し、採用強化を図るとともに、職場への定着率の向上を本年9月より図っている。今後、調査員の安定的確保及び迅速に認定調査を行えるような環境づくり

に努めていく。



吉岡 健
議員

生産緑地の買収申出の 検討の際の具体的な基準は

質問 今から5年後の2022年に生産緑地の指定が初めて行われた1992年から30年が経過する。生産緑地解除に伴い、土地の需給バランスが崩れると言われ

る「2022年問題」の発生が懸念されている。そのような中で生産緑地の買い取り申し出に当たって、市が買い取りを検討する際の具体的な基準・考え方はどのようなものか。

答 **都市整備部長** 現在は、買い取りの申し出があつた際には、その土地の活用の可能性を全

庁的に検討し、周辺地域の意向も踏まえながら、土地利用の目的に応じた開発行為における基準に照らし、総合的に判断している。生産緑地はまちづくりを進めていく上で重要な地域資源であり、まちづくりの基本となる計画においても、生産緑地を保全するとともに公共施設等の敷地としても活用を図ることとしている。また、公園が不足する地区を「身近な公園等配置検討地区」と位置付け、公園を整備することや、高年者福祉施設・防災広場など、地域にとって必要な機能を確保するために、生産緑地を活用していきたい。



藤家 諒
議員

「新入学児童生徒学用品費」 事前支給を検討へ

質問 本年3月31日、文部科学省が、就学援助制度の「入学準備金」について、小学校の入学に際しても速やかに支援を行うよう、各都道府県教育委員会・教育長に通知した。県内でも入間市と

川越市の2市で入学準備金の事前支給を実施し、富士見市、久喜市、吉川市、上尾市、戸田市の5市が平成30年度からの実施を検討している。草加市においても家庭の負担軽減のために、就学援助制度における「新入学児童・生徒学用品費」の事前支給を実施すべき

と考えるが、市の見解は。



答 **教育総務部長** 現在、準要保護者に対する、新入学児童・生徒学用品費の支給については、入学後に申請していただき、認定された保護者には援助をしてきた。

今後、新入学児童・生徒学用品費の事前支給については、近隣自治体の状況を把握しながら、予算措置、事務手続計画、事前支給の周知方法等、実施に向けて検討を進めていく。



斉藤雄二
議員

日本は核兵器禁止条約の 締結を

質問 本年7月7日、国連で「核兵器禁止条約」が賛成多数で採択された。「核兵器のない世界」を目指し、核兵器の使用や開発、実験、生産、製造、保有などを禁止する内容となっている。核抑止力の根幹ともされる「使用すると

の威嚇」も禁止となった。日本には非核三原則がありながら国連の会議に参加しなかった。唯一の戦争被爆国の日本が核兵器禁止条約のリーダーシップを取ることが今こそ必要ではないか。市長は核兵器禁止条約について、どのように

考えているのか。

答 **市長** 草加市平和都市宣言に「今こそ人類の英知を平和の確立と核兵器の廃絶に向けて結集すべきである」とあり、「いかなる戦争にも反対し、核兵器の廃絶を求め、『平和都市草加』を宣言する」とうたわれている。これは、核兵器禁止条約の趣旨と合致するものであると考えており、今後も草加市平和都市宣言の趣旨を広く市民の皆様に周知していきたい。



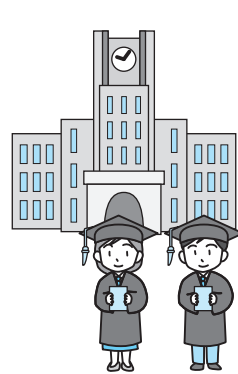
切敷光雄
議員

文教大学開学に係る 市の取り組みについて

質問 文教大学が、足立区花畑において、平成33年4月に開学されるとの発表があった。①開学に向けたスケジュールは。②人道橋の架橋の予定位置及び課題は。③災害時に避難所として文教大学の敷地を活用できないか。④河川管理用通路の安全対策は。

答 **総合政策部長** ①文教大学のプレスリリースによると平成33年4月に湘南キャンパスの国際学部と経営学部の全学年が移転され、収容定員1640人が想定されている。②草加市側は、瀬崎四

丁目1815番1地先の毛長川で、足立区側は、花畑五丁目付近が示されており、地域住民への影響や通学路の安全確保など、足立区、文教大学側と協議を行っている。③敷地面積が約4万8800㎡と広く、草加市の防災機能向上を図るため、災害時に避難所として活用できるよう、今後、文教大学に対して働きかけていく。④河川管理用通路（市道40276号線）が抜け道となっていることから、安全な通行を確保するため、架橋による効果など近隣の皆様に丁寧に説明し、必要な対策を講じていきたい。



市議会発！草加のことを伝えたい ～一般質問～

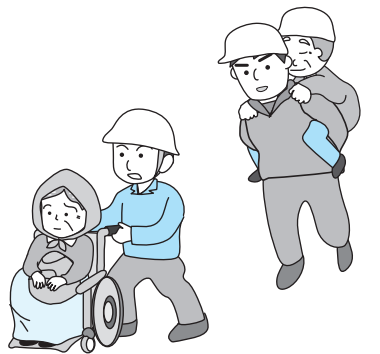


松井優美子
議員

災害時における 対応と取り組みについて

質問 ①近年、全国各地で大規模な地震や自然災害が相次いでいるが、災害時要配慮者への情報伝達方法並びに避難誘導時、避難所ではどのような対応がなされるのか、市の見解は。②今後の市の防災対策の取り組みの展望と課題は。

答 副市長 ①防災無線及び災害時メール配信システムを活用した情報提供とともに、日頃からの地域におけるお付き合いのもとで、自助に加え、共助の助け合いをお願いし、市民主導による



災害時の対応方法を各々の避難所で地域の皆様と調整を図り、避難所運営組織が対応ルールを作成し、災害時要配慮者に対する情報伝達、避難誘導、避難所における対応にも反映するように図っていく。②地域における災害情報の伝達体制の強化を図るため、避難所運営組織が設立された市内小・中学校32校と柿木公民館において、災害対応の現地活動拠点としての整備を図っていく。



広田丈夫
議員

スポーツ科学を生かし 小・中学生の体力向上を！

質問 スポーツ科学を生かすとともに、各小・中学校の課題を吸い上げ、体力アップをすべきと考えるが市の見解は。また、各小・中学校における体力向上の課題解決に向けた取り組みは。

答 教育総務部長 児童・生徒一人ひとりの体力向上のために、草加市立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会を設置し、草加市の新体力テストを分析し、児童・生徒の体力の課題解決に向けた取り組みを考え、授業研究会を通して各校に広げること、教職



員の指導力向上に努めており、昨年度から同委員会委員に知識経験者として、早稲田大学スポーツ科学学術院教授の鳥居俊氏を招聘し、科学的根拠のもとに、体力向上のための課題と方策について御教示いただいた。各学校においては、校内体力向上推進委員会を設置し、自校の新体力テストの結果から課題を定め、体育の授業を柱として、課題解決に取り組んでいる。今後、関係機関やスポーツ科学に精通している知識経験者から専門的な意見を得ることで、取り組みの質を高めていきたい。



芝野勝利
議員

市役所分散化計画を再考し 新庁舎と西棟に集約を

質問 新庁舎建設に当たり、設計業者と契約したが、第二庁舎との分散を前提にした計画は納得できない。市民サービスの観点から新庁舎と西棟に役所を集約するよう再考願いたい。第二庁舎は関連性の高い施設や図書館、あるいは賃貸するなど、視点を変えて活用すべき。

答 総合政策部長 御指摘のとおり、分散化のデメリットがある。しかし、集約した場合は第二庁舎の利活用という課題が生じる。契約上は計画どおりだが、今



金井俊治
議員

野良猫にかかわる 対策について

質問 野良猫の不妊・去勢をするための手術に補助金を出している事業の成果と、今後の取り組みは。

答 市民生活部長 平成28年10月から開始した不妊・去勢手術費の補助事業については、補助を希望される方に、あらかじめ手術を行いたい猫の数を事前協議により申し出ていただいている。平成28年度は33匹の申し出があり、補助金交付数はメスが8匹、オスが3匹で合計11匹、3万8000円の補助金を交付した。今年度は、



市役所本庁舎

後事業を進めていく段階で、集約可能か検討していく。現計画では延べ床面積は1万2000㎡だが、この場所は1万5000㎡まで建設可能な場所であることも、その余地を含んでいる。また、第二庁舎の利活用についても、御指摘のとおり、広い視点から今後検討していく。さらに集約した場合、交通規制の見直しの必要性、駐車場のあり方等も重ねて生じる課題であるため、庁舎内に新庁舎建設等検討推進プロジェクトチームを立ち上げ意見集約、諸課題対応に努めていく。



後藤香絵
議員

過去の水害被害から学び 対策強化を

質問 近年、これまでに無い規模の大雨による河川の氾濫、住宅の流出、家屋の倒壊などで死者、行方不明者を出す甚大な被害が相次いでいる。①草加市における水害対策は。②ハザードマップで安行台地への避難を促しているが、川口市との連携は。③水防法はどのように改正され、草加市としてどう対応するのか。

答 建設部長 ①河川管理者に対して治水対策推進の要望を行い、長寿命化計画に基づいて排水機能の維持、増強を進め、必要に



平野厚子
議員

国民健康保険税の値上げに ついて慎重な対応を

質問 ①国民健康保険広域化後の国保税がどうなるかについて、

本年9月14日、3回目の埼玉県「保険税必要額」は平成28年度の1人当たり保険税額と比較して何倍、幾らとなるのか。②県が示したとおり法定外繰入金を繰り入れた場合、1人当たりの「保険税必要額」はどう変わるか③保険税の申請減免や、担税力を十分審査した上での一部執行停止など、市でできる措置、対策を実施して、「国保税を値上げしない」という



応じて新たな対策について検討を加えた。

副市長 ②川口市を初め、県南の自治体と「災害時における相互応援及び平素における防災基盤整備に関する協定」を締結しており、災害発生時に円滑な避難ができる体制を整えている。③要配慮者利用施設の管理者に対し、避難訓練を含めた避難確保計画の作成を義務づける規定が新たに設けられた。今後は、計画作成が義務づけられる対象施設を含めた水害対策全般を整理の上、地域防災計画（風水害対策編）の見直しに向けた検討を進めたい。



ことが求められていると思うがいかがか。

答 健康福祉部長 ①約1.04倍、3918円増の10万3149円となる。②10万3149円から3万1250円減の、7万1899円となる。平成28年度の1人当たり保険税額と比較すると約27.5%減少する見込み。市長 ③今後、県から示される仮算定の結果などを参考に、国や県の動向等を注視しつつ、急激な負担増とならない対応をしていきたい。

市議会発！草加のことを伝えたい ～一般質問～

予防医療について

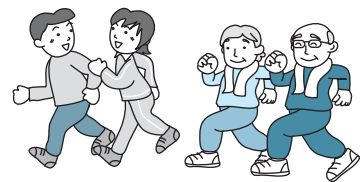


佐藤利器 議員

質問 ①市が実施しているがん検診の種類と対象者は。②検診受診者増加に向けて実施した取り組み、現在検討している取り組みは。③糖尿病予防のため、検査キット利用の取り組みへの検討は。④健康マイレージ事業の検討は。⑤食による健康づくりの取り組みは。

答 健康福祉部長 ①30歳以上を対象に胃がん、大腸がん、40歳以上を対象に肺がん、50歳以上を対象に口腔がん、20歳以上の女性を対象に子宮がん、40歳以上の

女性を対象に乳がんの6種類の検診を実施。②肺がん検診の保健センター窓口受付を不要にし、大腸がん、乳がん検診を個別医療機関でも実施。草加八潮医師会に胃がん内視鏡検診準備委員会を設置し、胃内視鏡検査の実現に向け取り組んでいる。③検査キットは利便性があるが、利用については受診勧奨としての効果や課題を整理する必要があると考える。④生活習慣病予防につながるよう実施を検討している。⑤管理栄養士などによる生活習慣病やバランスのよい食事などの講話を行う出前講座、食生活改善推進員による料理教室などに取り組んでいる。



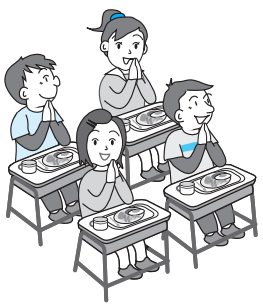
宇佐美正隆 議員

学校給食の無償化の実施は

質問 学校給食費は、保護者負担であるが、小中学校合わせて給食費全体の費用はどの位になるのか。「食のセーフティネット」として給食は重要である。就学援助での給食の実態は。②給食の無償化は子育て支援や少子化対策につながる重要な施策であると思うが市の見解は。

答 教育総務部長 市立小中学校の児童生徒は、小学校の児童数が、1万2623人、中学校の生徒数が6209人であり、1人当たりの年間給食費は、小学校が

4万7300円、中学校が5万6100円、小中学校年間合計の給食費は、9億4539万2800円となっている。就学援助で給食費を支給している実態は、平成28年度は、小学校が6356万5700円、中学校が4877万9255円で、年間合計で1億1234万4955円を支給している。市長 ②給食費の無償化については、子育て支援や少子化対策につながる施策であると認識しているが、財源の確保に課題があることから、研究課題として検討させていただきたい。



白石孝雄 議員

いじめ対策における市の取り組みは

質問 ①いじめを受けた児童・生徒に対する相談窓口や相談体制、解決への取り組みは。②SNSやメールなど新たな手段による相談体制について、市の見解は。③いじめに対するアンケートの実施方法及び内容の見直しは。④いじめを受けた児童・生徒への心のケアは。

答 教育総務部長 ①「いじめ等の悩み相談フリーダイヤル」を設置し、担当指導員などが対応に当たっている。対応時間の拡大等については今後検討していく。

②いじめを含む悩みなどをSNSやメールなどでまずは発信することとは有効であると認識をしている。今後、メルिट、デメルिटを研究して進めていく。③子ども同士の悩みや教師に対する悩みなどを子どもが訴えやすいように、アンケートの項目や実施方法等について検討していく。④教師はいじめを受けた児童・生徒の側に立ち、絶対に守り通すという姿勢を明確にするとともに、具体的な対応を示し、安心感を持たせながら支援を行っている。また、さわか相談員やスクールカウンセラー、臨床心理士等を活用し、ケアをしている。



田中宣光 議員

人権問題について

質問 我が国では、不当な差別、その他の人権侵害が今なお存在している。その解決には、行政の粘り強い取り組みが不可欠であると考え、①北朝鮮による拉致被害者の人権侵害について、市の見解は。②市で行っている人権教育・啓発活動は。

答 総合政策部長 ①北朝鮮による拉致問題は、一刻も早く解決すべき人権問題であると認識している。②ポスター等の掲示を通じた啓発活動、市のホームページにおいてイベント開催に係る記事

の掲載を行っている。

教育総務部長 ②各学校で全体計画や年間指導計画を作成しており、この計画に基づき、アイマスク・白杖などの体験活動、視覚に障がいのある方・パラリンピック選手による講演会など、教育活動を通じて、児童・生徒が基本的人権を尊重する意識の醸成・定着・高揚に努めている。また、教職員に対する人権研修の教材として、同和問題、子どもや高齢者、障がいのある人、LGBT、拉致問題など、多様な人権問題を扱ったDVDの貸し出しを行っている。



9月定例会の一般質問項目一覧

1 佐藤 憲和 議員

- ①松原団地の建て替え
- ②柿木地区産業団地
- ③公契約

2 井手 大喜 議員

- ①介護保険の認定
- ②空き家対策

3 吉岡 健 議員

- ①生産緑地
- ②PTA

4 藤家 諒 議員

- ①図書館
- ②教育支援
- ア、費用負担の軽減
- イ、就学援助制度

5 齊藤 雄二 議員

- ①平和事業
- ア、核兵器禁止条約
- イ、ヒパクシャ国際署名
- ②学校図書
- ③ふるさと納税
- ④自殺予防対策
- ⑤公共事業における放射性廃棄物の使用に関する考え方

6 切敷 光雄 議員

- ①都市におけるオープンスペース
- ア、生産緑地
- イ、都市公園
- ②農業委員会等に関する法律の改正
- ③文教大学に係る取り組み

7 松井 優美子 議員

- ①災害時の対応と取り組み
- ②ヘルプマークの作成・活用・普及

8 広田 丈夫 議員

- ①小・中学生の体力向上
- ア、競技としてのスポーツ推進
- イ、小・中学生の体力の現状及び向上に向けての取り組み
- ②草加駅東口駅前広場の開発
- ③障がい者の支援
- ア、障害者差別解消法
- イ、そよかぜの森
- ウ、施設の事故防止
- エ、ヘルプカード・ヘルプマークの導入

9 芝野 勝利 議員

- ①そうか公園北側の土地利用方針
- ②新庁舎

10 金井 俊治 議員

- ①高齢者の住宅支援にかかわる事柄
- ②道路の空洞化にかかわる事柄
- ③地域の動物の問題にかかわる事柄
- ア、野良猫にかかわる対策
- イ、動物の餌づけにかかわる対策
- ④突風・竜巻対策

11 後藤 香絵 議員

- ①水害
- ②交通弱者への移動支援

12 平野 厚子 議員

- ①国民健康保険
- ②公文書、古文書の保存と活用
- ③詐欺・悪徳商法対策と第三者による財産管理の普及

13 佐藤 利器 議員

- ①予防医療

14 宇佐美 正隆 議員

- ①マイナバーカード
- ②草加市制60周年に向けての文化事業
- ③学校給食に関する事柄
- ④葛西用水に関する事柄

15 白石 孝雄 議員

- ①いじめ対策

16 田中 宣光 議員

- ①人権問題
- ア、草加市人権施策推進基本方針
- イ、人権教育・啓発活動

一般質問の内容は市議会ホームページの議会中継（録画放映）でご覧ください。

草加市議会 検索

※QRコードからもご覧になれます

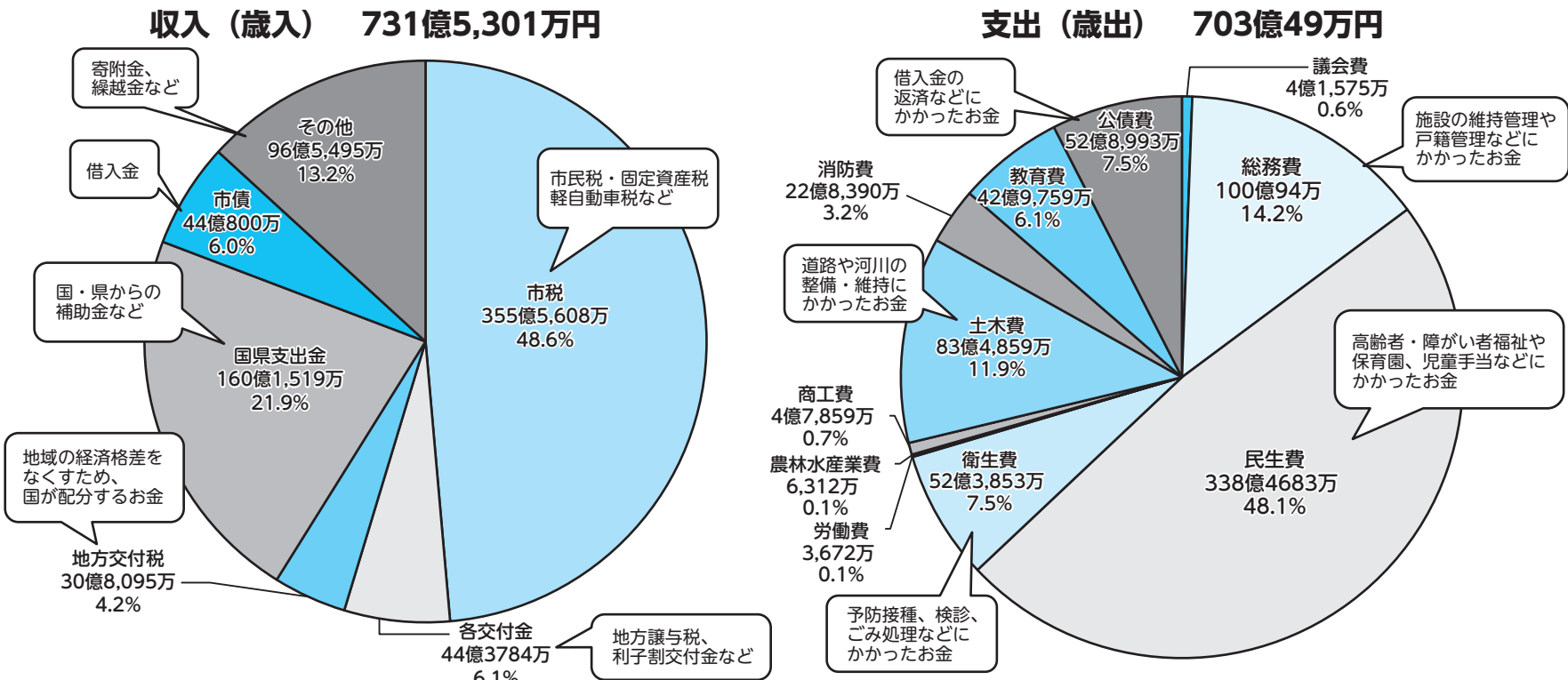


決算審査を終えて

～平成28年度の草加市～

決算特別委員会 委員紹介	切敷 光雄	委員長	中野 修	委員	吉沢 哲夫	委員
	白石 孝雄	副委員長	佐藤 憲和	委員	平野 厚子	委員
	金井 俊治	委員	関 一幸	委員	宇佐美正隆	委員
	佐々木洋一	委員	浅井 昌志	委員	佐藤 勇	委員

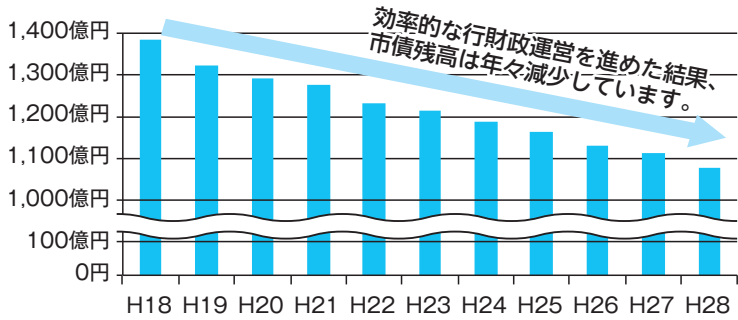
一般会計の決算状況



特別会計・企業会計の決算状況

会計名	収入	支出	会計名	収入	支出
公共下水道事業	71億4,468万円	68億8,065万円	国民健康保険	310億4,008万円	290億8,521万円
交通災害共済事業	9,470万円	2,379万円	介護保険	131億5,401万円	123億526万円
新田西部土地区画整理事業	2億4,670万円	2億3,514万円	後期高齢者医療	22億4,756万円	22億3,510万円
駐車場事業	2億3,754万円	2億2,725万円	水道事業会計	48億3,402万円	55億5,198万円
新田駅西口土地区画整理事業	5億1,468万円	3億4,668万円	病院事業会計	132億2,298万円	141億5,722万円

草加市の市債残高の推移



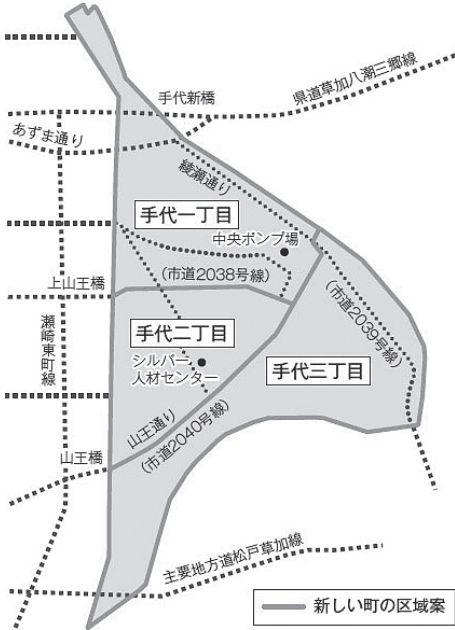
9月定例会の主な議案の概要

市長提出議案

◆町の区域を新たに画することについて

手代町地区について、住居表示（〇丁目〇番〇号での表示）を実施するため、町の区域を新たに画するものです。

なお、住居表示については、告示や地元への説明会を開催した後、平成30年10月から11月頃に実施する予定です。



◆平成29年度一般会計補正予算（第2号）

既定の歳入・歳出予算総額から17億4,469万円を減額するもので、主に、前年度からの繰越金が発生したことで各種基金からの繰入金を減額したほか、次の事業を実施するために費用を追加するものです。

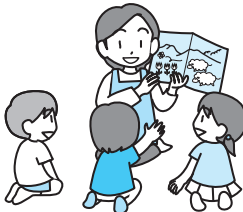
①文化会館維持管理・芸術文化振興事業

文化活動の促進並びに観光の振興を図るため、茶の湯のもてなしを主とした日本文化芸術等関連施設の建設工事等を行うものです。

②民間保育推進事業

民間保育所等の保育士を確保するため、潜在保育士等を対象としたセミナー等を開催するものです。

また、平成30年度新設の保育所整備について、分園1施設を追加整備するための補助を行うものです。



議員提出議案

議員提出議案として6件の意見書が提出され、審議の結果5件を可決しました。可決した意見書は国会・関係行政機関に送付しました。

意見書の全文については市議会ホームページの「会議の情報 意見書・決議」からご覧になれます。（右のQRコードからご覧になれます）



<可決された意見書>

- ・森林環境税（仮称）の早期創設及び成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書
- ・食品衛生管理の国際標準化を求める意見書
- ・受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書
- ・北朝鮮の核・ミサイル問題の平和的・外交的解決を求める意見書
- ・核兵器禁止条約の調印を求める意見書

<否決となった意見書>

- ・高度プロフェッショナル制度を導入しないよう求める意見書

議員の納税等状況を報告します！

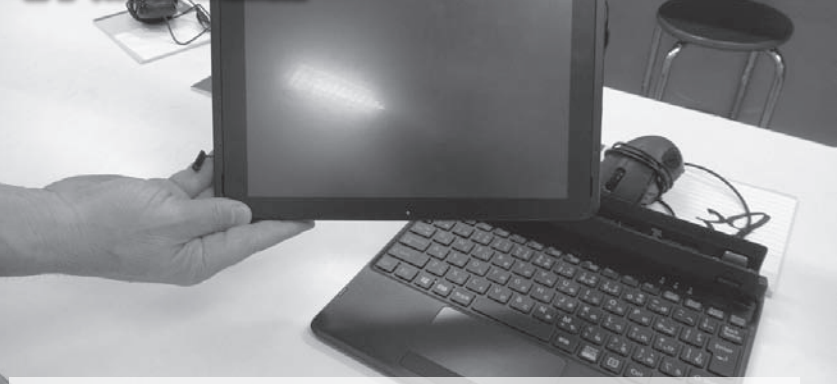
市議会だよりNo.224にてお知らせいたしました、議員の納税等状況の公開については、全議員が全項目について完納しておりましたので御報告いたします。

なお、各議員ごとの納付状況については、市議会ホームページにて公開しています。

平成28年度の草加の事業成果 ～決算を終えて～

教
育

タブレット型コンピュータと電子黒板を整備



児童・生徒の学力向上に向けた取り組みとして、市内小学校6校と、市内中学校3校にICT環境の整備を行いました。

学校図書の蔵書数 充足率100%以上達成



学校図書の整備を促進し、平成28年度末時点における全ての小・中学校の学校図書館図書標準冊数に対する充足率が100%以上となりました。

福
祉

認知症検診の受診者が増加

平成28年度から65歳以上のすべての方が検診の対象に拡大されたことにより、受診者数が平成27年度と比べ485人増加し、要精密検査と判定された方は、平成27年度と比べ45人増加しました。



がん検診（肺がん、大腸がん）の受診がしやすく

平成28年度から

- ①「肺がん検診」は、保健センターへの事前申し込みから直接医療機関への申し込みに変更になりました。
- ②「大腸がん検診」は、保健センターでの集団検診に加え、直接医療機関での受診が可能になりました。



介護ロボットの導入を促進

介護事業所で働く介護従事者の負担軽減を図る取り組みの推進のため、介護事業者にとって経費負担が大きい「介護ロボット」の導入を促すことを目的に国からの交付金により導入費用を助成しました。

平成28年度の導入実績

- ・マッスルスーツ 3台
肩から腰にかけて装着し、圧縮空気を送り込むことで腰への負担を軽減する機器
- ・見守り支援機器 6台
自室のベッドからの離床などを感知するもの

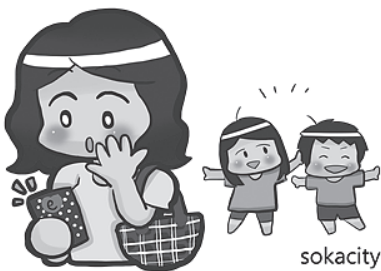


子
育
て

予防接種モバイルサービスの配信を開始

平成28年9月より、スマートフォンや携帯電話を利用して予防接種の接種時期等をご案内できる配信サービスを開始しました。

本サービスは、お子様の予防接種のスケジュール管理が簡単に行えるだけでなく、予防接種の接種日にあわせてお知らせメールが届いたり、お近くの医療機関の検索が出来るなど、保護者の皆様の利便性の向上につながっています。



保育園の改修&耐震補強等の実施



耐震補強工事を終えた園舎

良好な保育環境の整備のため、保育園の改修工事が行われました。

- ・あおやぎ保育園・しのは保育園の手洗い流し改修工事
 - ・やつかみ保育園の耐震補強工事
- また、昭和56年以前の旧耐震診断基準で建築された3園舎（しんえい保育園・やはた保育園・あおやぎ保育園）の耐震診断が行われました。

ま
ち
づ
く
り

柿木地区の企業誘致に向けた取り組み



イメージ図

柿木地区の企業誘致に向け、埼玉県企業局と連携しながら、土地権利者の方々への事業説明や、土地の利用調整に伴う関係機関との協議を行いました。

新田駅東口のまちづくりを推進



イメージ図

「快適都市－草加－地域の豊かさの創出」の実現に向け、主要事業の一つとして新田駅東口土地区画整理事業を行い、駅通り北側の移転促進街区の整地工事。街区外周の区画街路築造工事を実施しました。

市民生活

「パリポリくん」バスの運行開始

交通不便地域の解消のため、草加市で初めてのコミュニティバス「パリポリくん」バスが、市の北東ルート、南西ルートの2路線、計7台で運行が開始されました。

「パリポリくん」バスの導入により、交通不便地域の32%が解消しました。



利用状況（平成28年4月～平成29年3月）
 北東ルート：1便当たり7.8人 目標ライン15.3人
 南西ルート：1便当たり9.2人 目標ライン24.4人

ごみ分別アプリ配信スタート

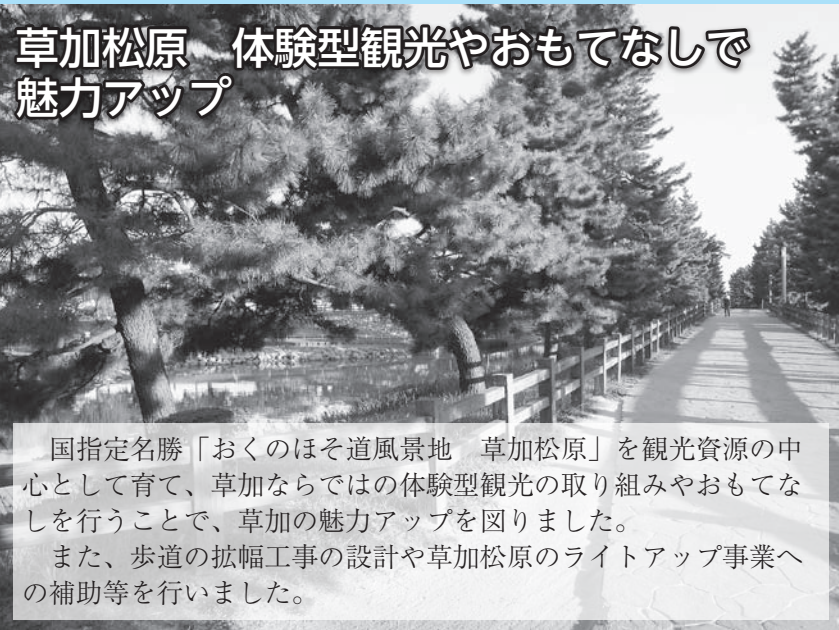
ごみの収集日の確認やごみの出し方や出すときの注意点、ごみ収集許可業者の連絡先など、既存の草加市ごみカレンダーの情報が確認できるスマートフォン向け無料アプリケーションの配信を平成28年9月よりスタートしました。

お住まいの地区の設定や、ごみの収集日のアラート設定もでき、ごみに関する様々な役立つ情報を提供しています。



文化・観光

草加松原 体験型観光やおもてなしで魅力アップ



国指定名勝「おくのはそ道風景地 草加松原」を観光資源の中心として育て、草加ならではの体験型観光の取り組みやおもてなしを行うことで、草加の魅力アップを図りました。

また、歩道の拡幅工事の設計や草加松原のライトアップ事業への補助等を行いました。

女性の社会進出を支援



子育てや介護等により一般的な創業が困難な女性に対して、フルタイム労働を前提としない創業の取り組みや女性の社会進出を支援しました。

平成28年度は「わたしたちの月3万円ビジネス講座」を6回開催し、ビジネスアイデアを生み出すワークショップなどの実践プログラムを行いました。

参加された16名の受講生のうち、15名の方の創業につながりました。

建設

道路の空洞化による事故発生のリスクを調査

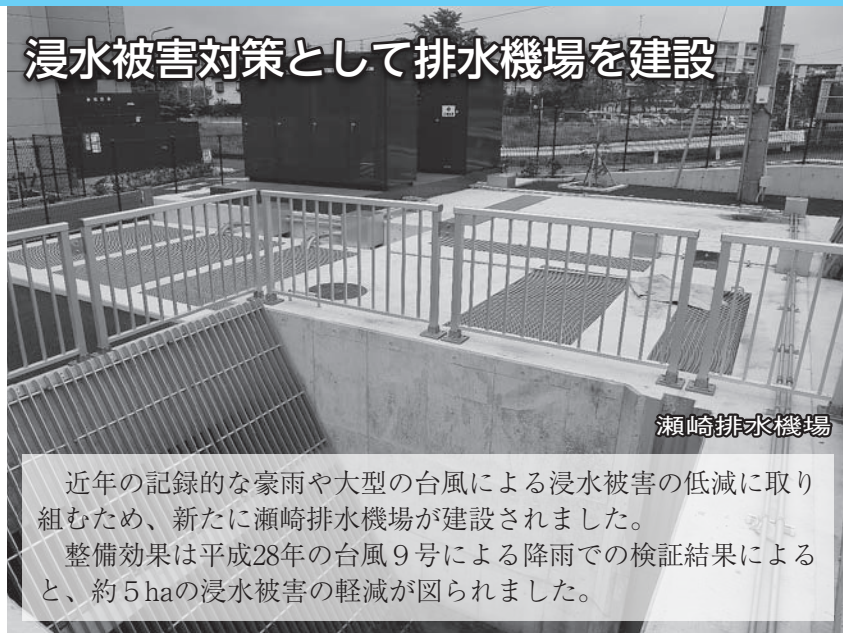
道路が空洞化すると、震災時に道路が陥没し、救急隊の到着が遅れるなどの二次被害や、日常においても道路陥没による事故発生のリスクがあります。

現在、緊急輸送道路のうち、市が管理する約12kmの道路について空洞化診断を行ったところ、4カ所の空洞を発見しました。

現状において、道路の陥没に至るものではありませんが、適切な維持管理をする上で、随時補修を行う必要があることから、補修方法等について検討を行っています。



浸水被害対策として排水機場を建設



近年の記録的な豪雨や大型の台風による浸水被害の低減に取り組むため、新たに瀬崎排水機場が建設されました。

整備効果は平成28年の台風9号による降雨での検証結果によると、約5haの浸水被害の軽減が図られました。

安全・安心

災害に備えハザードマップを全世帯に配付



市内全ての住宅と事業所へハザードマップを配布しました。

今回のハザードマップは、災害時に命を守るための基礎知識をまとめた「導入編」及び災害への理解を深め、命を守る行動につなげるための実践をまとめた「本編」で構成されており、水害の被害や地震による被害が視覚的にわかりやすく掲載されています。

「アナタノ家モ載ッテマス」という表紙にもあるように、草加市にいる全ての方に読んでいただき、災害への備えの一助となることを期待します。

市内4駅周辺に防犯カメラを設置

人通りが多く犯罪件数の多い駅周辺地域の犯罪抑止のため、市内4駅の周辺地域に防犯カメラを設置しました。

草加駅東口12台・西口16台、獨協大学前駅東口7台・西口6台、谷塚駅東口3台・西口3台、新田駅東口5台・西口4台の計56台の設置を完了しました。

また、警察などの捜査機関からの照会に応じ、画像提供が行われました。



審議結果一覧

○:賛成 ×:反対 除:除斥

議案番号／議案名		会派構成／議員名										草加新政					公明党				共産党				※自ク	一	一	議決結果					
		芝野勝利	浅井昌志	吉岡健	井手大喜	小澤敏明	新井貞夫	関一幸	中野孝雄	白石利器	佐藤由和	鈴木光雄	切敷恭代	飯塚恭一	佐々木洋一	金井俊治	広田丈夫	西沢可祝	宇佐美正隆	佐藤憲和	斉藤雄二	藤家諒	平野厚子	後藤香絵	佐藤勇	松井優美子	田中宣光		吉沢哲夫	小川利八			
【平成29年9月定例会】 9月7日～9月29日																																	
市長提出議案	43	平成28年度草加市一般会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定		
	44	平成28年度草加市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	認定		
	45	平成28年度草加市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定			
	46	平成28年度草加都市計画新田西部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定			
	47	平成28年度草加市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定			
	48	平成28年度草加都市計画事業新田駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定			
	49	平成28年度草加市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	認定		
	50	平成28年度草加市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定			
	51	平成28年度草加市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定			
	52	平成28年度草加市水道事業決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
	53	平成28年度草加市立病院事業決算の認定について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定		
	54	平成29年度草加市一般会計補正予算(第2号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	55	平成29年度草加市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	56	平成29年度草加都市計画新田西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
※委	57	平成29年度草加都市計画事業新田駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	58	平成29年度草加市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	原案可決		
	59	平成29年度草加市介護保険特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決			
	60	平成29年度草加市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	61	町の区域を新たに画することについて										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	62	平成29年度草加市一般会計補正予算(第3号)										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	委3	市長の専決処分の指定の一部改正について										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議員提出議案	議10	食品衛生管理の国際標準化を求める意見書										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議11	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議12	森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議13	高度プロフェッショナル制度を導入しないよう求める意見書										×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	否決	
	議14	核兵器禁止条約の調印を求める意見書										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	議15	北朝鮮の核・ミサイル問題の平和的・外交的解決を求める意見書										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	原案可決	
【平成29年第1回臨時会】 10月31日																																	
※市	63	監査委員の選任につき同意を求めることについて										議長	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

表紙の題字を書してくれた人



草加中学校3年
川原さくらさん

生まれ育ったそうかの
まちを思いながら丁寧
に力強く書きあげまし
た。今まで出会った人
々、安心して暮らせる
草加のまちにこの題字
を通して感謝の気持ち
を伝えられたらうれし
いです。

《編集後記》

今回の「市議会だより」はいかがでしたか。
編集会議では、市民の皆様にご覧いただける「市議会だより」を目指し、とても和やかな雰囲気の中、自由活発な議論がされています。今後とも「今回の市議会だよりは面白かった!」と言われるような紙面を目指し、議会広報委員会委員一同頑張っています。

議会広報委員会副委員長 吉岡 健

次の定例会は12月7日(木)に開会し、12月21日(木)に閉会する予定です。問い合わせは議会事務局まで。
TEL 048 (922) 2489 FAX 048 (922) 3154

広報委員
が突撃!

市職員インタビュー

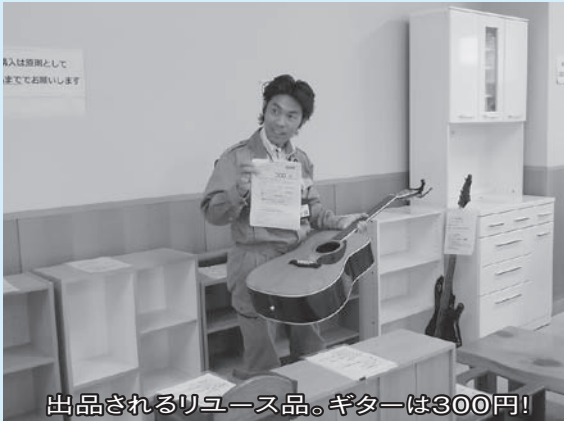
廃棄物資源課
岩城課長に聞く!

委員 廃棄物資源課の業務内容は?
岩城 一般廃棄物に係る業務、具体的には、ごみの収集・運搬・処分に関すること、し尿の収集・運搬に関すること、リサイクル・ごみの減量に関することなどです。



委員 リユース品の販売について教えてください。
岩城 月1回第4土曜日に、リサイクルセンターで、粗大ごみのうちまだ使用できるものを格安で販売しております。ホームページやスマートフォン用の無料アプリ「ごみ分別アプリ」等でお知らせしておりますので、是非来てください。

委員 多く出品されるものや売れ筋は?
岩城 一概には言えないのですが、健康器具などはきれいな状態のものが多く出品されると思います。また、楽器などもよく出品されます。カラーボックス・プラスチックケース等がよく売れていると思います。



委員 最後に市民の皆さんに伝えたいことはありますか。
岩城 ごみは一人ひとりの心がけで減らすことができます。ごみの中身を調べてみると、リサイクルできる紙や布がたくさん混ざっておりますので、ごみを出すときはリサイクルできるものがないか意識していただければと思います。